

# 貧困地帯の教育支援でコラボ

## タイ東北部の小学校に教室寄贈

いい新聞 2013.3.23-29

タイ東北部貧困地帯の小学校に教室を寄贈するプロジェクトで日タイのライオンズクラブが協力。3月8日、ブリラム県ラハーンサーイ郡のBPPスクールで4教室の引き渡し式が行われた。今回の支援により同校の教室数は11から15に増えた。このほか、黒板、椅子、机もあわせて贈られた。

今回のプロジェクトに参加したのは、①名古屋ライオンズ②松本中央ライオンズ③台北明德獅子会④ドゥシットライオンズ⑤ブリラム・ナンロンライオンズ⑥ライオンズクラブ国際財団(LCI F)基金の6クラブ。組織だ。支援総額は180万バーツに及ぶ。

プロジェクトの発端であるが、名古屋ライオンズクラブの中川法恵・第1副会長(次期会長)によれば、今年9月9日に40周年を迎える同クラブでは記念行事として、海外で奉仕活動を行なうことを決めたという。

そこで、タイ貧困地帯での教育支援を継続して行なっているドゥシットライオンズクラブにコンタクト。その後、同クラブの日本人メンバーがコーディネイト役となり、複数の団体・組織による約1年の長期プロジェクトが立ち上がることとなった。



今回のプロジェクトを高く評価するボンサック国際ダイレクター



教室寄贈プロジェクト関係者が親交を深めた日タイ交流会

教室引き渡し式のため、名古屋ライオンズクラブ、松本中央ライオンズクラブから20人が来タ

イ。中川副会長は、「タイの子供たちが非常に喜んでくれた。苦勞が報われた」「日本のお菓子が好評



来タイした日本のライオンズクラブ関係者

だった」と話していた。

### アジアで広く奉仕活動

名古屋ライオンズクラブでは5年に1度のペースで、海外奉仕活動を行なっている。これまでに、ネパールで顕微鏡、スリランカで救急車、レントゲンなど医療器具、車椅子を寄贈。また、車椅子はモンゴル、台北にも届けられている。

タイでは10年前、北部チェンマイのファンパーク寺院の学校建設事業を現地のナコンピンクラブと合同で支援。好評を博した。

このほか、名古屋ライオンズクラブでは麻薬撲滅運動も長年にわたり取り組んでおり、タイでもケシ栽培撲滅に貢献している。

なお、3月9日に行われた日タイ交流会で、ライオンズクラブ国際協会のボンサック・ケットサワディウオン国際ダイレクターは、「世界に金持ちが多いが、お金の使い方を知っている人は少ない。4月にスペインで開催される国際会議で、今回のプロジェクトを報告する」と約束した。

(倉林義仁(記者))